

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	浸水対策下水道事業費		部課コード	1611	予算事業科目	110102030172	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	都市建設部	部長名(2次評価者)	海治 甲太郎	個別事務	全部	110102030172	-		
	担当部署	下水道建設課	所属長名(1次評価者)	前田 交二				-		
	電話番号	088-823-9474	E-mail	kc-161100@city.kochi.lg.jp					-	

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)		高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け								
会計	11 下水道事業	目標	03 環境と共生する安全で快適な都市	政策基本方針	災害に強いまちづくりを進めるため、自然の循環作用にも配慮しながら、都市防災構造化を推進するとともに、市民と行政とが一体となった防災対策、応急活動を行う自主防災組織の育成・強化、災害に強い人材育成などに取り組みます。					
款	01 下水道費	政策	01 災害に強いまちづくり							
項	02 下水道施設費	施策	01 災害に強い基盤整備							
目	03 下水道建設費	区分	06 公共下水道(雨水)							

2 事業の根拠

法律・政令・省令	下水道法、都市計画法、下水道法施行令	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市下水道条例	
その他(計画、覚書等)	高知市公共下水道基本計画、高知市公共下水道事業計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市民		
意図	どのような状態にしていけるのか	市民の生命・財産を守るため、浸水被害の防除を図る		
手段	事業実施体制等	工事請負及び測量設計委託業務により行う。	事業開始年度	昭和23年
			事業終了年度	-
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ●雨水管渠の整備 ●雨水ポンプ場の新築、改築更新 		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	計画どおり実施できたか	年度当初の予算の達成度について	
	B			
	C			

4 事業の実績等

		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A 計画どおり実施できたか	目標	1,972,000千円(100%)	1,838,000千円(100%)	1,369,000千円(100%)	760,000千円(100%)	
		実績	1,943,000千円(98.5%)	1,838,000千円(100%)	1,369,000千円(100%)		
	B	目標					
		実績					
C	目標						
	実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	1,545,000	1,954,000	2,110,000	1,471,000	
		財源内訳	国費 (千円)	772,500	977,000	1,055,000	728,500
			県費 (千円)	0	0	0	0
			市債 (千円)	772,500	977,000	1,053,500	742,500
			その他 (千円)	0	0	0	0
			一般財源 (千円)	0	0	1,500	0
	翌年度への繰越額 (千円)	1,447,000	1,302,000	561,000			
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	172,500	82,500	112,500	150,000	
		正規職員 (千円)	172,500	82,500	112,500	150,000	
		その他 (千円)					
		人役数 (人)	23.00	11.00	15.00	20.00	
		正規職員 (人)	23.00	11.00	15.00	20.00	
		その他 (人)					
総コスト= ① + ② (千円)		1,717,500	2,036,500	2,222,500	1,621,000		
市民1人当たりコスト (円)		5,029	5,977	6,542			
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714			
						総コスト/年度末人口	

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 27 日）

評価項目		評価基準		1次	平均 点数	評価内容の説明	
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	B (3) 一部結びつく	A	5.0	総合計画において、災害に強い都市基盤の整備として位置づけられている。 市民意識の高まりがあり、整備の要望が高い。	
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	C (1) あまり結びつかない	D (0) 結びつかない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B (3) 概ね達成している	A	5.0		長浜・大津関地区においては、ポンプ場・幹線管渠の整備が進捗している。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	C (1) あまり順調ではない	D (0) 十分な成果を望めない				
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	B (3) 行政主体が望ましい	A	5.0	アウトソーシングはできない。 コスト削減に努めながら、効率的に実施できている。	
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	C (1) 検討の余地はある	D (0) 十分可能である				
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	B (3) 概ね保たれている	A	5.0		浸水実績を基に未整備地区や整備水準の低い旧市街地の早期浸水解消に向け取り組んでいる。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	C (1) 偏っている	D (0) 公平性を欠いている				
総合点	20.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)				
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)				
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)				
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)				

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 29 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	市民の生命・財産を台風や降雨災害から守るため、浸水実績により、順次、整備を行っている。今後は、現在の降雨強度77mm/hで整備されていない旧市街地の浸水対策を進めていく。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--